

# 学校の部活動にも町のバス使用許可を



片山裕治 議員

片山議員 さる7月上旬、私のところへ氷川中学校の部活のコーチから問い合わせがありました。夏休みの期間中に競技大会が開催され「平日のために、保護者の車での送迎が出来ずに困っている」とのことでした。送迎車を7台確保しなければならぬので、町のマ

イクロバスを使用できないかという問い合わせでした。早々、総務課の職員に尋ねたところ、氷川町有のマイクロバスは使用規則で使用できないとの回答でした。そこで、もう一度総務課、学校教育課と協議していただき使用規則を改正してほしいと思います。

## 柔軟性を持って対応する

体育系合の部活動が盛んでかなり利用範囲が広がって、本来の規則に沿った利用範囲を少し超えている部分も目につきましたので、学校長会等に町より、使用規則に基づいた使用をお願いした経緯があります。しかしながら、町有のマイクロバスですので、空いているときはある程度柔軟性を持って対応していく必要があると思っております。

## 総合型スポーツクラブへ町の支援を

片山議員 最近、氷川町スポーツクラブの「のぼり旗」を目にしたます。スポーツを通じて元

気のある町だと感じさせます。スポーツクラブの目的についてお尋ねいたします。

## 気軽にスポーツができるように

町長 スポーツクラブにつきましては、体協の競技種目に入れない、いわゆる子どもたち、それから運動したくてもその機会、場所がなかった皆さまに気軽にスポーツに参加できるためのプログラムを組むということでございます。

片山議員 今回のス

## 会費月額1千円

生涯学習課長 先日の会議で、一人当たり一種目、月額千円の会費ということを考えています。

片山議員 新しくスポーツクラブを設立することにより、人件費が発生しますので、競技種目

## 設立に向け利用者へ支援をしていきたい

町長 このスポーツクラブの設立につきましては、教育委員会と真剣に議論し準備されています。町といたしましては、今後とも設立にあたっては、利用者へ負担がかからないような支援をしていきたいと思っております。



町内に立てられているスポーツクラブの旗

# 宮原の中心市街地活性化対策はどうするか



江寄 悟 議員

江寄議員 町は今まで八十歳で長寿のお祝いをしていました。しかし、行財政改革の一環として、お金がないから八十八歳まで長生きしないとお祝いをしなさいと変更しました。八十一歳から八十八歳に達するまでに亡くなられていける高齢者の皆さんにも町民み

んなでお祝いをしてあげようではないですか。合併当時に戻して八十歳で長寿のお祝いをする考えはありませんか。

## 設立に向け利用者へ支援をしていきたい

町長 介護福祉・在宅福祉の部分のサービス向上というものを目指して

いく必要があると思いますし限られた財源をいかに有効に使っていくかという部分も勘案し、元に戻すことは考えていません。

江寄議員 敬老会については二会場で行われていますが、七十五歳以上の今年の敬老会対象者は、

## 設立に向け利用者へ支援をしていきたい

町長 敬老会は、二会場で行われていますが、個人的な気持ちとしては、時間的な制約もあって一ヶ所の会場で開催できないか担当課や老人クラブ連合会で検討を進めている所です。

## 教育のまち「氷川町」を創っていくには

江寄議員 廣瀬教育長は、四期十四年間築き上げられた教育持論や教育の方針、また今後教育のまち「氷川町」を作っていくには、どの様な視点から取り組んでいけばよるしいかご享受をお願いいたします。

## 教育は人なり、継続は力なりを念頭に

教育長 平成8年11月から教育委員会事務局で仕事をさせて頂いていますが、教育長として日頃心がけていることは「教育は人なり」と「継続は力なり」という言葉を念頭に置いています。「教育は人なり」とは、人が



人に教える育ていく営みで家庭、社会、学校、職場等、人と人が協力協働し、助け合っていくことです。「継続は力なり」とは、教育の大きな変容を求めるには、かなりのエネルギーが必要で一朝一夕には達成できないからです。氷川町の小中学校五校の今後の課題は学級数にあります。学校の組織力は、先生方の数で、それは学級数で決まります。各学年に一人や二人増えると二クラスに出来るのが七か所もあるの

## 住宅政策など念頭に対策を考える

藤本町長 教育の面についても住宅行政が絡んでくるので、それを視野に入れ今後対策を展開すべきだと思っております。